

3-2-4 産業の発達と民衆の生活②

やること

1 民衆が力をつけてきた流れ（復習）

2 惣

3 土一揆

4 まとめ



資料集を用意して取り組もう！

1 民衆が力をつけてきた流れ（復習）

室町時代の民衆は力をつけていきました。どのように力をつけていったか復習しましょう。

問1 当時の社会の中で高利貸しとして民衆にお金を貸していた商売の名称を2つ書きなさい

答え：土倉・酒屋

問2 座は寺社や公家に販売の独占を確保され商売をおくっていました。

座の権利を保護していた寺社や公家の名称をなんといいますか。

答え：本所

2 惣

民衆は自治的な組織をつくっていきました。この組織を「惣（そう）」と呼びます。

（読み取り）

惣では自治的な生活を送るために「掟」を寄合と呼ばれる会合できめていました。

掟によると次のことはどのように規定されるでしょうか。資料集 P54「史料」を読んで答えなさい

① 村で管理する共有地と私有地のトラブルはどのように処理すると掟で定められていますか

答え：金銭で処理する

② 家を売って大金を手にした人はどのようなことをしなければなりませんか？

答え：100文について3文ずつ、1貫文について30文ずつ村へ出さなければならない

③ 飼ってはいけないペットは？

答え：犬



飼ってはいけない理由として病気が人に移るからや猿を大事にしていた地域で「犬猿の仲」の言葉から忌み嫌われていたなど諸説あります。



3 土一揆

室町時代の民衆は力をつけていった結果「抵抗する力」も同時につけてきました。

(読み取り)

資料集 P54①抵抗する力をつけた民衆 A 正長の土一揆は当時の土一揆について詳しく書かれた資料です
ここから当時の土一揆がどのようなものであったか読み取りましょう。

① 民衆が打ち壊した場所を 3 つあげなさい

答え：酒屋・土倉・寺院

正長とは当時の「元号」
土一揆とは当時「土民」と呼ばれていた庶民が起こした集団行動のことです

② なぜこの場所を打ち壊したのでしょうか

答え：民衆が借金をしている場所だったため（借金の文証を破棄したかったから）

③ なぜこの時にこのような事態がおきたのでしょうか資料集 P54A の「かいせつ」から読み取りなさい

答え：正長元年は大飢饉の年で特に庶民が貧困に苦しんでいたため



俺たちは正長元年より以前の借金は払わないという内容を岩に刻んだんだ！

4 まとめ

室町時代には同業者組合組織の①がつくられるなど庶民は経済的に力をつけていた。この①は寺社や公家などの②に営業の独占などを認められていた。つくられたものは馬を使って荷物を運ぶ③などが運ぶなど流通網も形成されていった。村では自治組織の④が村の掟をつくり生活をしていくなど民衆の力は強まっていった。力をつけた民衆は正長元年に⑤を起こし当時高利貸しを行っていた酒屋や土倉をうちこわし借金の帳消しを宣言するなど抵抗する力もつけていった。

① 座

② 本所

③ 馬借

④ 惣

⑤ 正長の土一揆（土一揆）

毎週日曜日に NHK で「麒麟がくる」っていうドラマがやっているのだけどちょうど室町時代の終わりのところが題材なんだ！
時間があったら是非見てみて！
勉強にもなるし面白いよ！

